

製品名: CTNNA1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00078**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 100 kDa; Observed MW: 100 kDa

抗原情報

遺伝子名	CTNNA1
別名	Catenin alpha-1; Alpha E-catenin; Cadherin-associated protein; Renal carcinoma antigen NY-REN-13
遺伝子 ID	1495
SwissProt ID	P35221
免疫原	ヒト α 1 カテニンの合成ペプチド

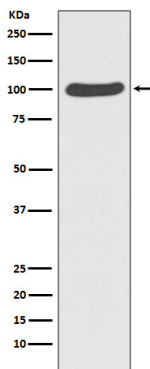
背景

接着結合は細胞間接触を形成する動的な構造であり、発生、分化、組織の完全性、形態、そして細胞極性において重要な役割を果たします。接着結合は膜貫通タンパク質であるカドヘリンで構成されており、カルシウム依存的に隣接細胞のカドヘリンと結合します。

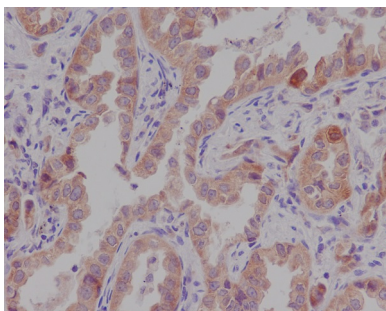
研究分野

細胞生物学

画像データ



CTNNA1 抗体を使用した HeLa 溶解物中のカテニン アルファ 1 のウエスタン ブロット分析。



カテニン アルファ 1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。